

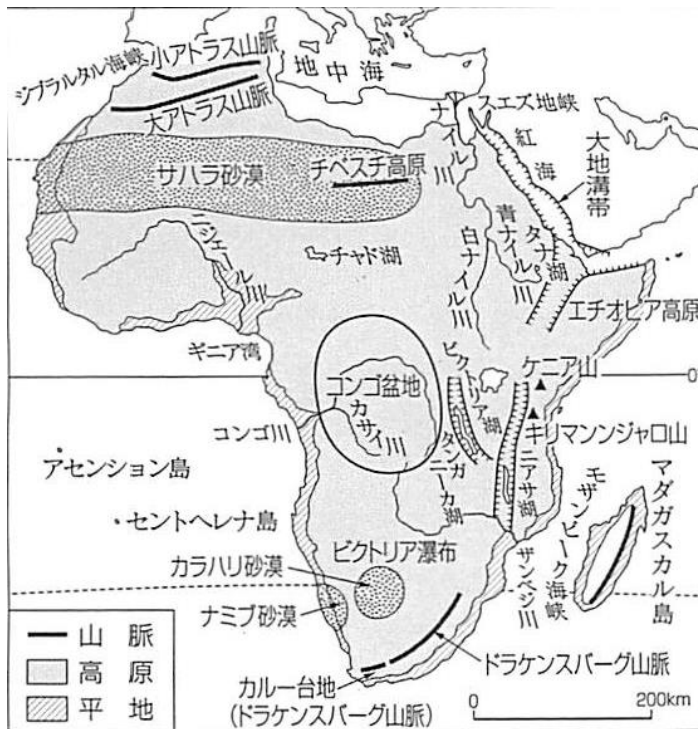
地誌 第15回「アフリカ地誌① 自然環境」

○今回のポイント

アフリカの地形は安定陸塊！ 気候は赤道を挟んで対象に分布！

アフリカの自然環境

(1)アフリカの地形



☆[① 安定陸塊]☆

- ・大部分がかつての[② ゴンドワナ大陸]に属する
- ・全体的に[③ 高原状](高度 200m~1000m が全体の 67.1%)。
- ・高度別面積の割合
⇒高度 200m 未満の低地の割合が低い(全体の 9.7%)
- ・[④ 海から船舶が遡って航行できない]
⇒海岸部からすぐに標高が高くなるので、赤道付近を流れる[⑤ コンゴ川]などは、下流部に滝や急流がみられ、海から船舶が遡って航行することができない。

☆[⑥ 外来河川]☆

- ・[⑦ ナイル川]…世界最長の河川。赤道が通過するヴィクトリア湖とエチオピア高原を水源とし、サハラ砂漠を通過して地中海に注ぎ込む外来河川。河口部にデルタ。
- ・[⑧ ニジェール川]…西アフリカを流れる。サハラ砂漠周辺部を通過してギニア湾に注ぎ込む外来河川。河口部にデルタ。

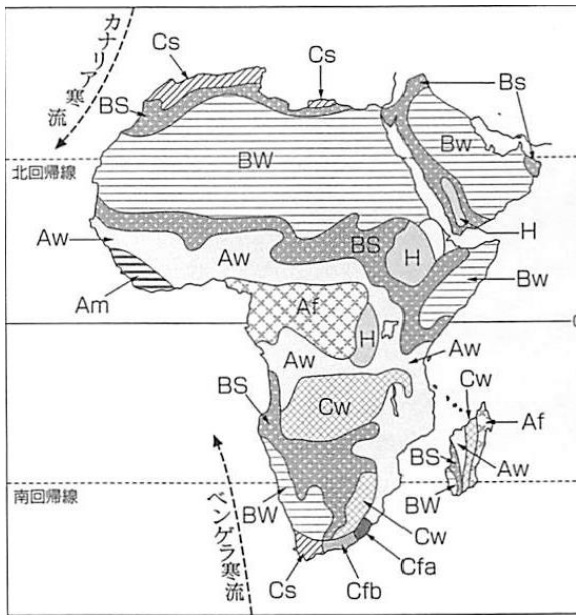
☆[⑨ アフリカ大地溝帯]☆

- ・紅海ーエチオピア高原ーザンベジ川河口部はプレートの[⑩ 広がる境界]に位置し、アフリカ大地溝帯となる。
- ・アフリカ大陸最高峰の[⑪ キリマンジャロ山]
- ・[⑫ 断層湖](陸地の裂け目に水がたまって形成された地溝湖)…タンザニーカ湖やマラウイ湖
※ビクトリア湖は断層湖ではなく[⑬ 曲降盆地湖]であるので注意。

☆山脈☆

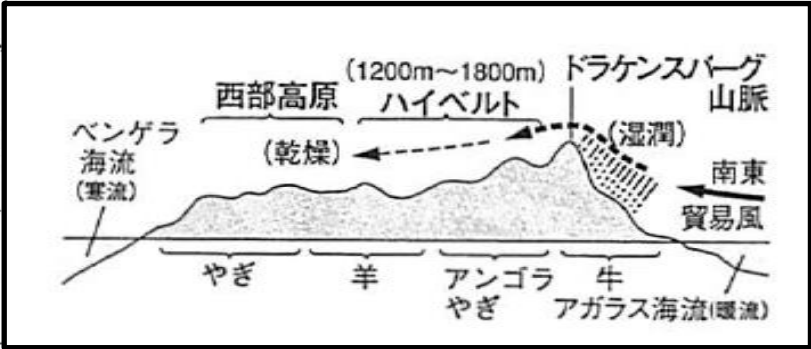
- ・[⑭ アトラス山脈]…アフリカ北部を走る新期造山帯。油田が分布する。
- ・[⑮ ドラケンスバーグ山脈]…アフリカ南東部を走る古期造山代が分布する。

(2)アフリカの気候



○緯度・経度

- ・アフリカの中央部を赤道が通過。
- ・北端と南端がそれぞれほぼ同緯度。[16 35度]
- (北緯35度は東京と同緯度)
- ・気候区は赤道を挟んでほぼ南北対称に位置。



○気候

↑ 南アフリカの地形断面図

a.熱帯雨林気候(Af)

・ [17 コンゴ盆地]、[18 ギニア湾沿岸] ⇒ 赤道付近…年中赤道低圧帯の影響で年中高温多雨

・ [19 マダガスカル] 島東部 ⇒ インド洋からの湿潤な南東貿易風の風上に位置し、年中降雨

b.サバナ気候(Aw)

・ 雨季と乾季が明瞭。熱帯雨林気候をとりまくように分布

・ 北半球では7月前後、南半球では1月前後がそれぞれ雨季となる。

・ 疎林と草丈の長い草原からなる [20 サバナ] (サバンナ) が広がり、野生動物が多く生息する。

c.砂漠気候 (BW)

・ 南北回帰線付近は年間を通して中緯度高圧帯(亜熱帯高圧帯)の影響を受けるので、年中乾燥する。

・ [21 サハラ砂漠] …亜熱帯砂漠の一種。北回帰線の付近。亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)に支配され、年中下降気流が卓越。雨を降らせる上昇気流が生じにくい。

・ [22 カラハリ砂漠] …亜熱帯砂漠の一種。南回帰線の付近。

・ [23 ナミブ砂漠] …海岸砂漠の一種。中緯度高圧帯(亜熱帯高圧帯)の影響を受けて、下降気流があるうえに、寒によって下から空気が冷却され、下層が冷涼、上層が温暖という安定構造ができ、上昇気流が生じない。

・ [24 ワジ] …普段は水流が見られず、ごくまれに降る雨の直後にだけ流れる涸れ川。

d.ステップ気候(BS)

・ 砂漠気候の周辺に位置し、短い雨季が見られる。

e.地中海性気候(Cs)…中緯度高圧帯(亜熱帯高圧帯)の影響を受ける。

・ [25 アトラス山脈] の北側の地中海沿岸。北半球の夏にあたる7月前後に少雨となる。

・ アフリカ南西端の [26 ケープタウン] 付近。 [27 ドラケンスバーグ] 山脈からの乾燥した風と中緯度高圧帯の影響により南半球の夏にあたる1月前後に少雨となる。

f.西岸海洋性気候(Cfb)…最寒月平均気温(-3℃以上 18℃未満) かつ、年中降水し、最暖月 22℃未満。

・ 別に西岸でなくとも上記の条件を満たせば西岸海洋気候になる。

・ 南アフリカ南東のドラケンスバーグ山脈の風上は、 [28 南東貿易風] が暖流の [29 アガラス海流] を通るときに湿潤となり、年中降雨することになり、Cfb となる。